

中国景気概況(2022年2月)

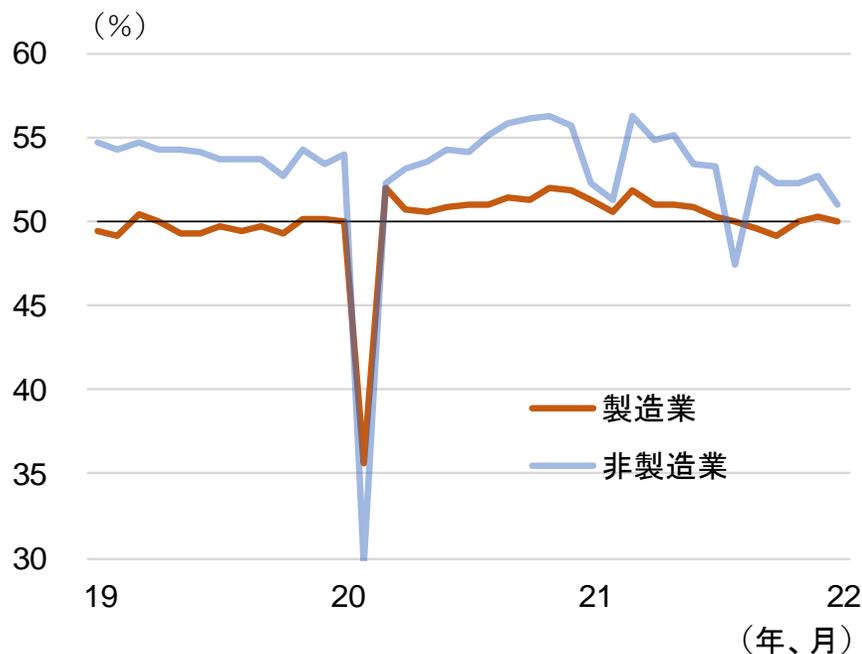
2022年2月2日

調査部 研究員 丸山 健太

景気は減速、PMIは低下

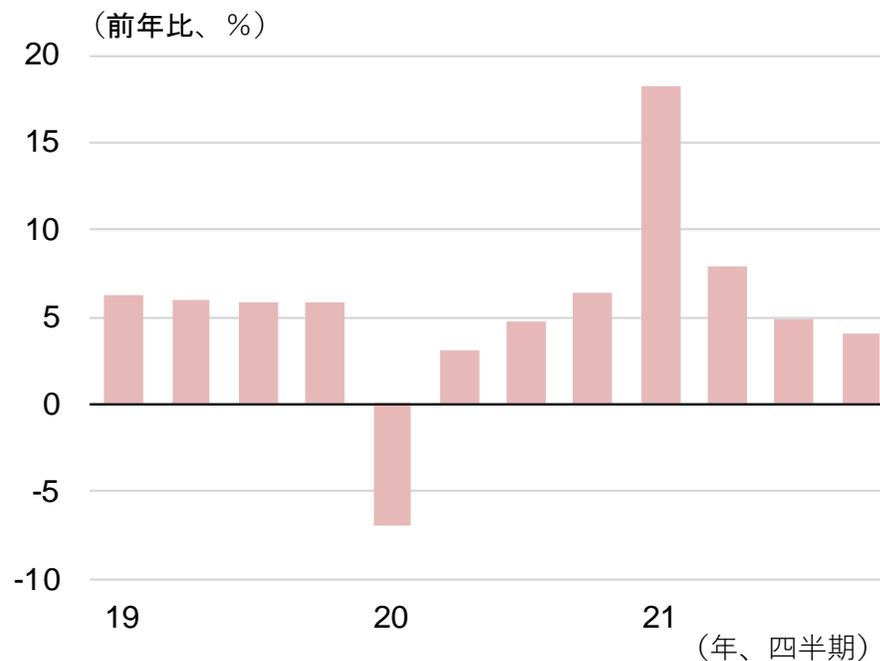
中国景気は減速している。2021年第4四半期の実質GDP成長率は前年比+4.0%と鈍化した。不動産業界の停滞や、新型コロナウイルス感染再拡大によるサービスを中心とした個人消費の低迷が景気回復の抑制要因となった。1月のPMIは、製造業・非製造業とも景況感の境目である50を上回ったが、前月から低下した。全国的な感染拡大の影響により、宿泊など接触型サービス業や旅客運輸業を中心に、非製造業の落ち込みが大きかった。

PMI



(出所) 国家統計局

実質GDP(四半期)



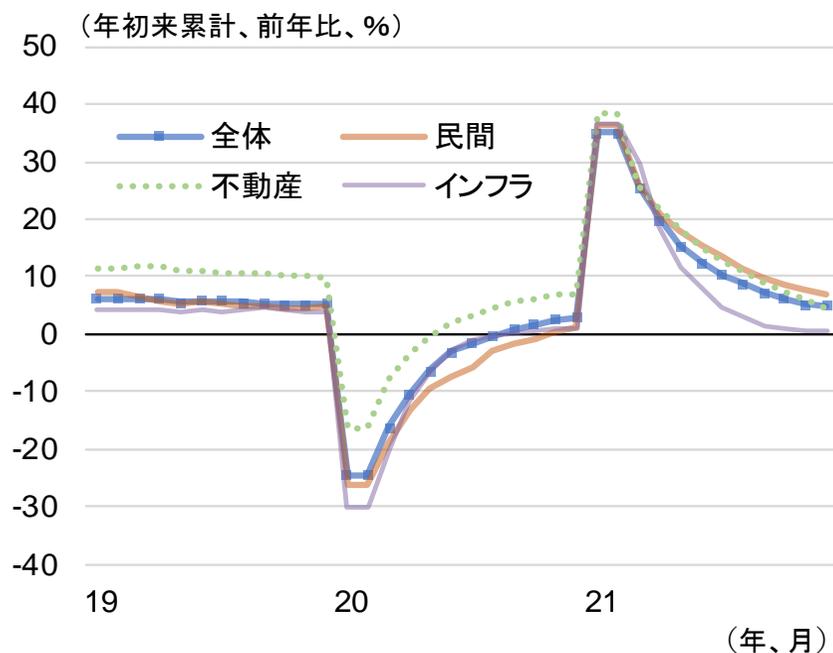
(出所) 国家統計局

固定資産投資は増勢が鈍化、生産は持ち直しの動き

12月の固定資産投資（年初来累計値）は、前年比+4.9%と増加幅縮小が続いた。特にインフラ投資の伸びの鈍化が目立つ。地方政府はインフラ債の発行を加速させたが、投資基準の厳格化などもあり、投資の増加にはつなげていない。

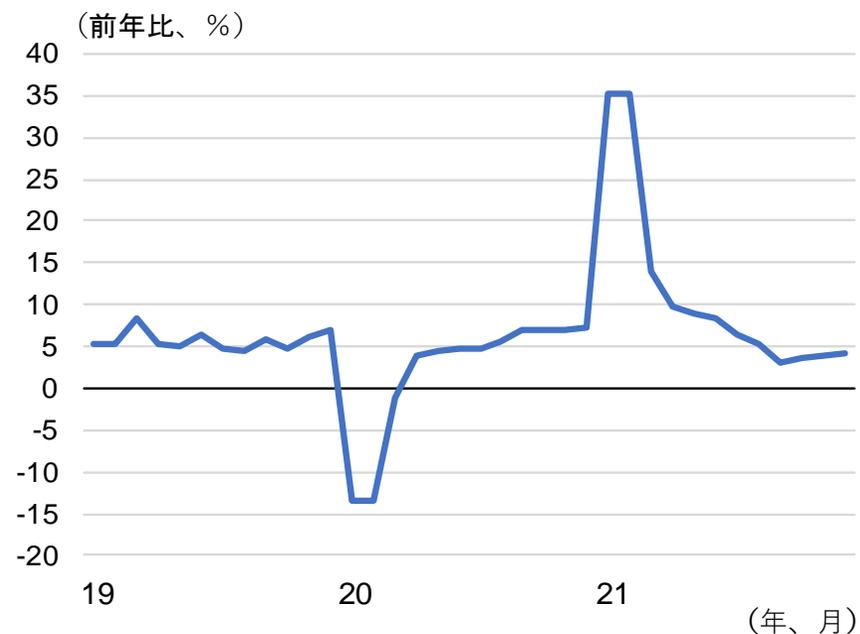
12月の工業生産は、前年比+4.3%と増加幅は拡大した。半導体など部品不足が解消に向かっている自動車や、環境規制強化の影響が一巡した鉄鋼やセメントを中心に、持ち直しの動きがみられる。

固定資産投資



(出所) 国家統計局

工業生産



(出所) 国家統計局

消費は低迷続く、物価は上昇幅縮小

12月の小売売上高(名目)は前年比+1.7%と、増加幅は縮小した。特に、部品不足による減産の影響で自動車販売の減少が続いたほか、ゼロコロナ政策で局所的に厳しい行動制限が課され、飲食サービス消費は同一-2.2%と2ヶ月連続で減少した。2月には北京冬季五輪を控え、当面ゼロコロナ政策は続くと思われる、サービス中心に消費は低迷が続こう。

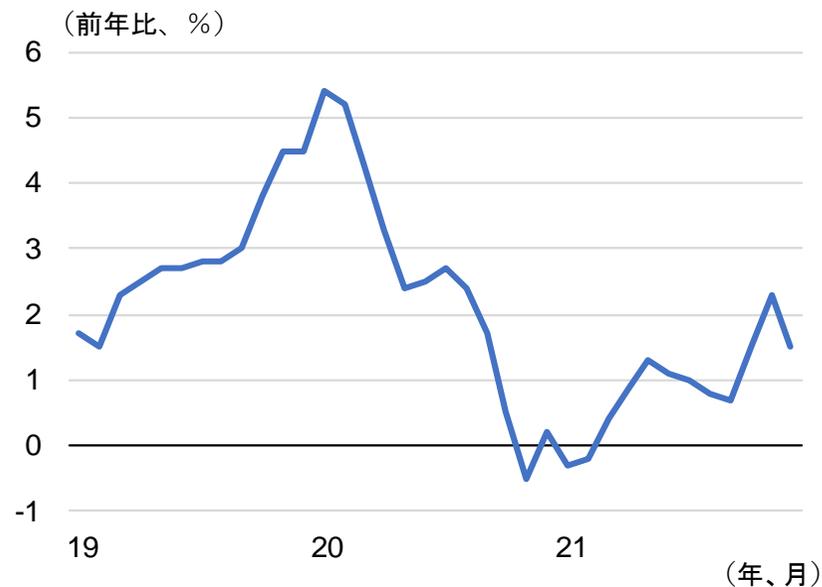
12月の消費者物価上昇率は前年比+1.5%と、食品価格が下落に転じたことなどを背景に、上昇幅は縮小した。

小売売上高(名目)



(出所) 国家統計局

消費者物価指数



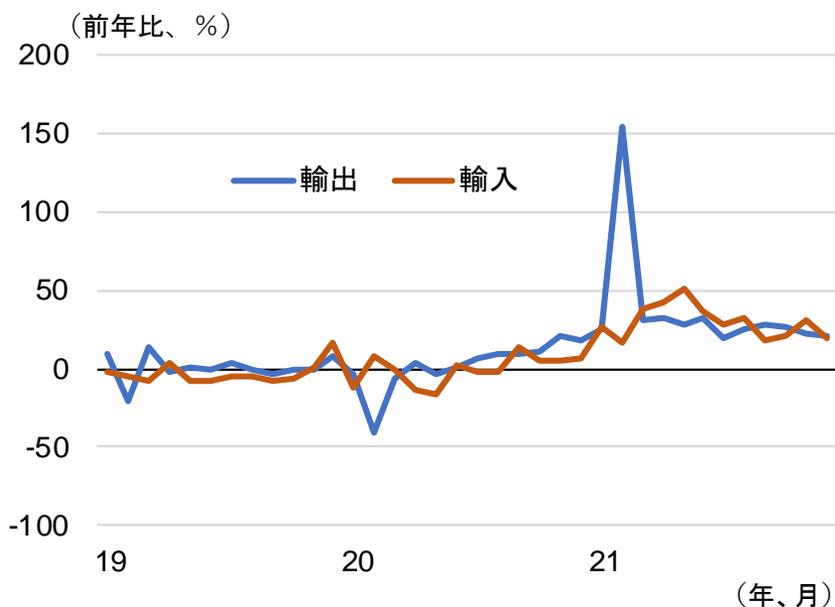
(出所) 国家統計局

輸出入とも増加が続く

11月の輸出は前年比+20.9%、輸入は同+19.5%と大幅な増加が続いた。貿易黒字は945億ドルと、前年同月(782億ドル)から拡大した。輸出は、品目別ではスマートフォンやPC、電子部品の寄与が、地域別では米国やEU向けの寄与が、それぞれ大きかった。また輸入は、需要の底堅い半導体等電子部品、価格が高騰する原油や石炭の増加が目立った。

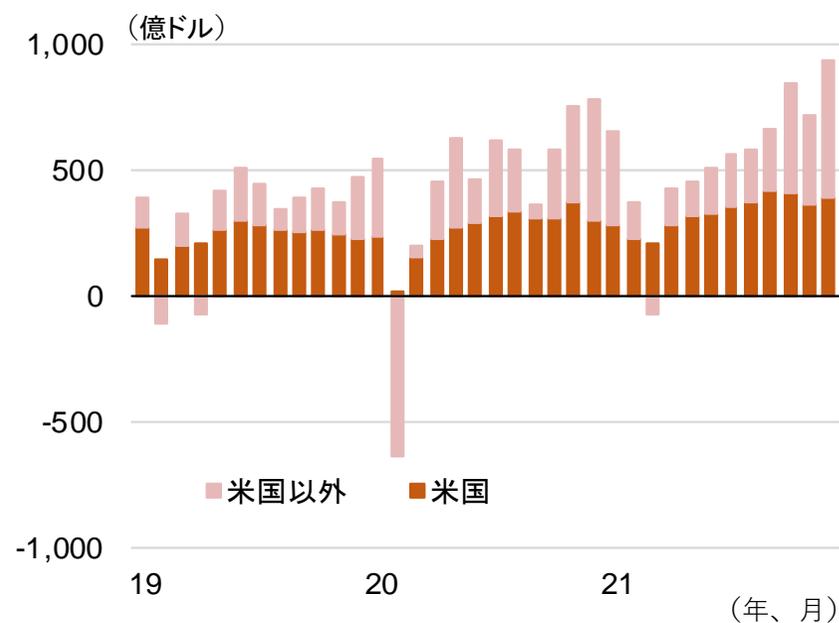
貿易収支は、対米、対EUなどで黒字幅が大きく拡大した。

財輸出入



(出所) 海関総署

貿易収支

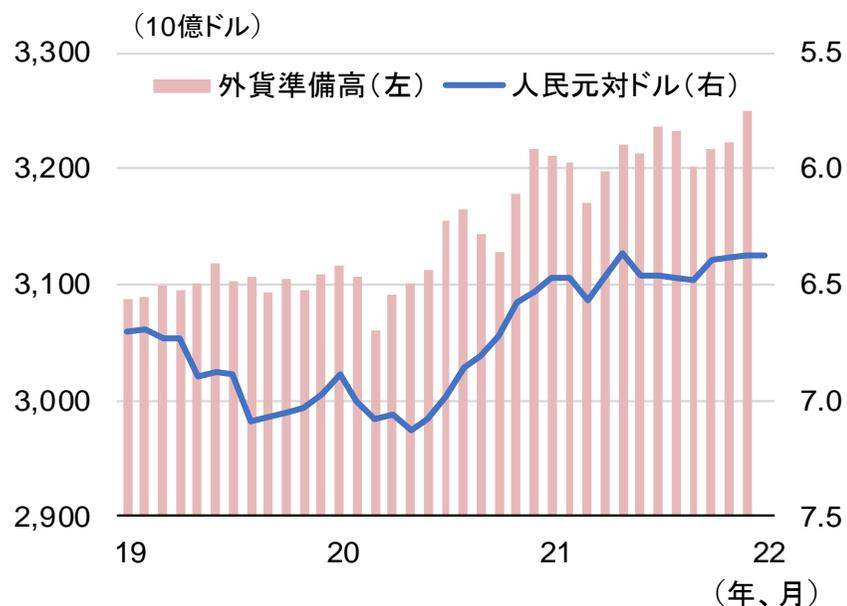


(出所) 海関総署

為替は横ばい、株価は下落

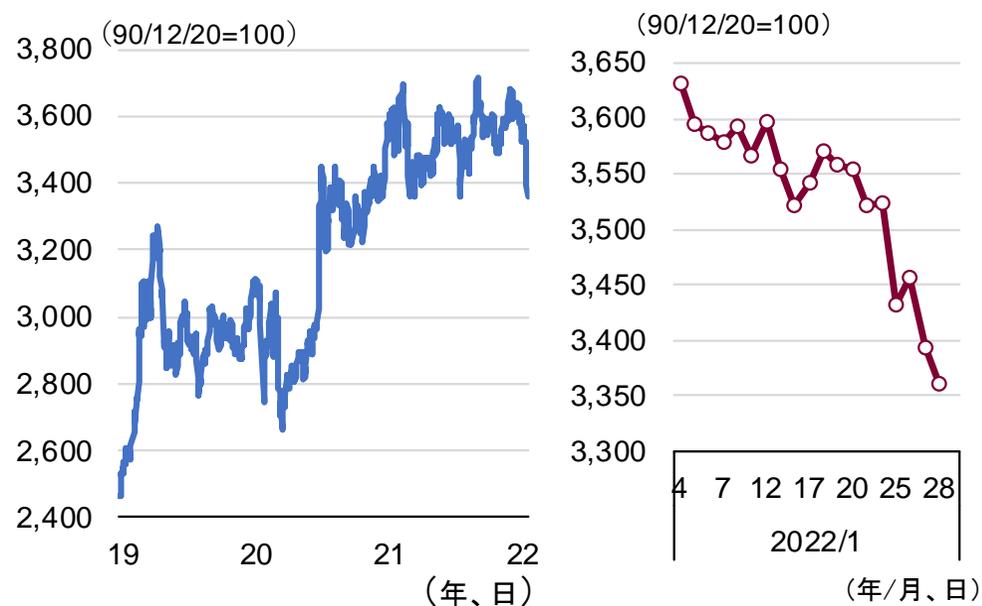
人民元の対ドルレート(1月末値)は1ドル=6.37元と、横ばいで推移した。1月は後半にかけ、春節に向けた季節的な人民元需要の高まりを背景に元高・ドル安が進み、一時3年9ヶ月ぶりの水準(1ドル=6.32元)を記録した。その後、月末には米国での利上げ観測が強まり、元安・ドル高が進んだ。12月末時点での外貨準備高は、3兆2502億ドルと増加が続いた。1月の上海総合株価指数は、感染拡大による先行き不安などから下落し、下旬には約6ヶ月ぶりの安値をつけた。

外貨準備高



(出所) 中国人民銀行

上海総合株価指数

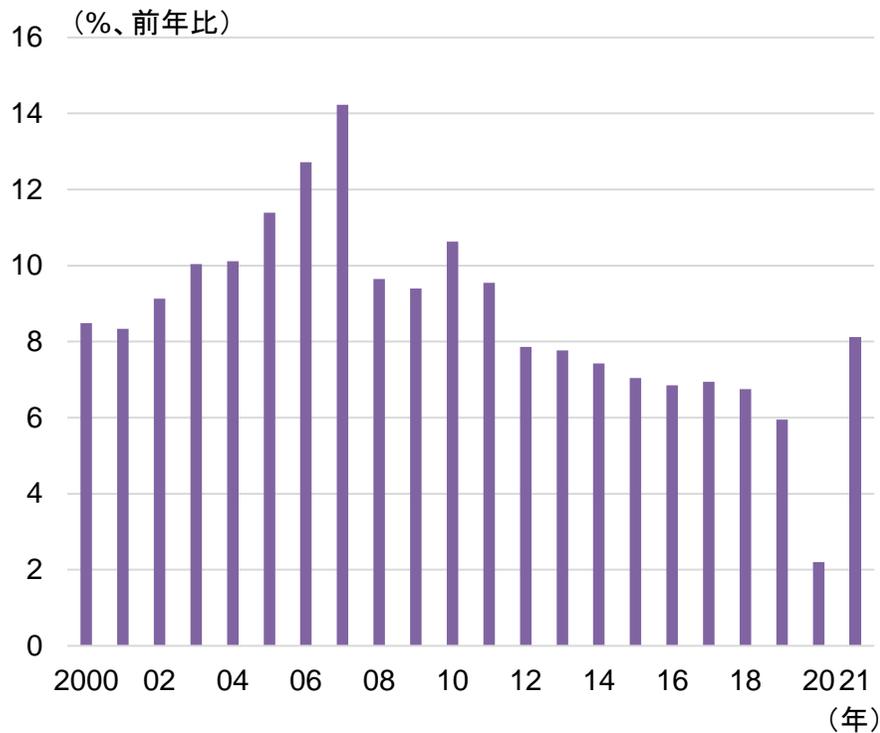


(出所) 上海証券交易所

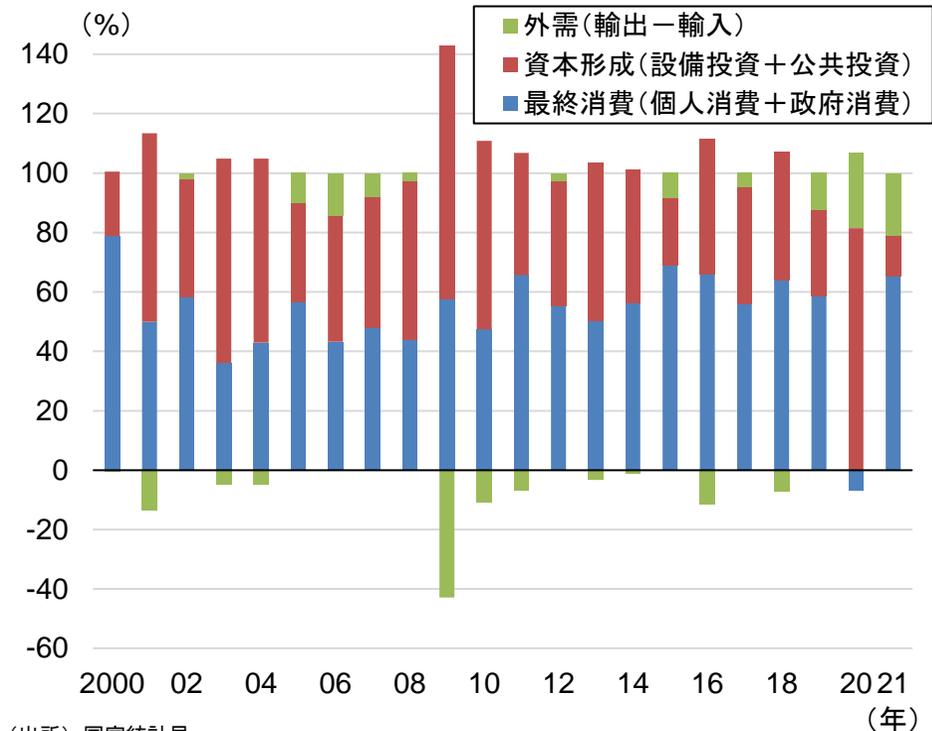
2021年は、堅調な外需を下支えに高成長

2021年の実質GDP成長率は前年比+8.1%と、2011年以来の高成長となった(左図)。個人消費で20年の落ち込みからの反動増がみられたほか、日米欧などの景気回復を追い風とした輸出の拡大を背景に、外需(輸出-輸入)のGDP成長への寄与率(20.9%)が2年連続で高い割合を示した(右図)。もともと、コロナ禍の影響を均した2年間の平均成長率は年率+5.1%と、コロナ前の6%の成長ペースへの回復には至っていない。サービス消費の低迷やインフラ投資、不動産投資の減速が成長を抑制した。コロナ前の成長ペースに戻るためには、消費や投資など内需の回復が必要である。

実質GDP成長率の推移



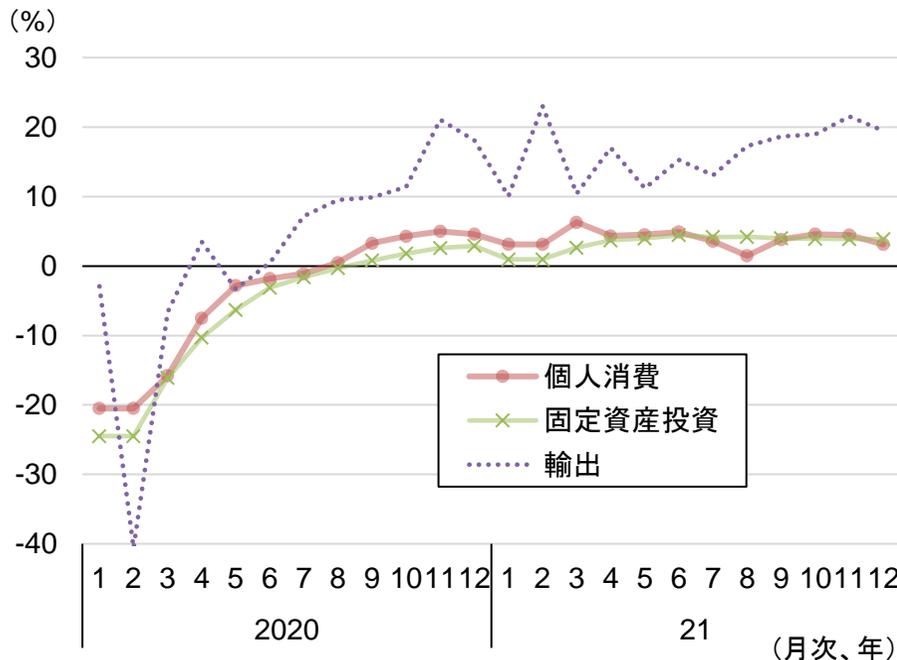
実質GDP成長率の寄与率



2021年の輸出動向

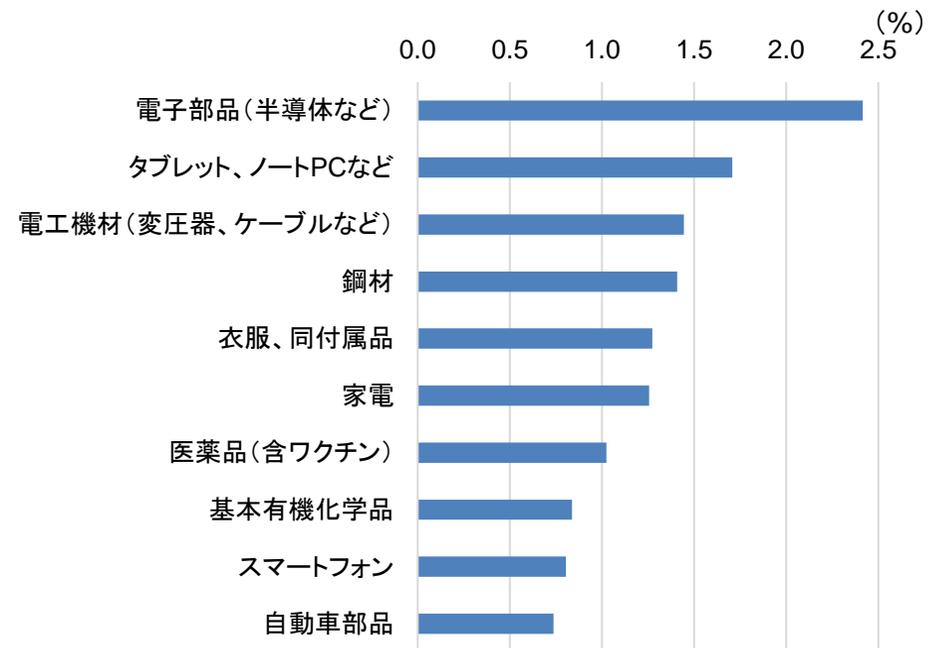
中国の輸出は、2020年後半から前年比10%超のペースで増加している(左図)。個人消費や固定資産投資といった内需の鈍い動きに対し、外需が中国経済の回復を牽引したことがわかる(6ページ参照)。品目別にみると、世界的に需要が強い電子部品、コロナ禍でのテレワーク対応やDXの必要性の高まりを背景としたノートPCやスマートフォン、巣ごもり需要を追い風とした家電、また新型コロナワクチンなどが21年の輸出を押し上げた(右図)。22年も、世界的にコロナ禍が続く中、これら財への需要は強く、輸出は堅調を維持し、中国経済の回復を下支えしよう。

各需要項目の前年比推移



(注) 2021年は、コロナ禍の影響を除いた2年前比(年率換算値)
(出所) 国家統計局、海関総署

輸出の品目別前年比寄与度(2021年)



(出所) 海関総署

今年の春節も、消費拡大の契機にならず

2022年1月14日、中国政府は個人消費を喚起するための通知を公表した(「关于做好近期促进消费工作的通知」、左図)。この中で示された10の方針のうち、5つが春節を契機に消費の底上げを目指すものであった。もっとも、今年の春節は2月1日で、その前後に設定される休暇期間中の2月4日には北京冬季五輪が開幕する。五輪成功のため、政府には、消費喚起よりも「ゼロコロナ」政策を重視している。すでに、21年12月以降、新型コロナ・オミクロン株の流行で感染者数が全国的に増加する中(右図)、今年の春節消費も低調に推移する公算が大きい。

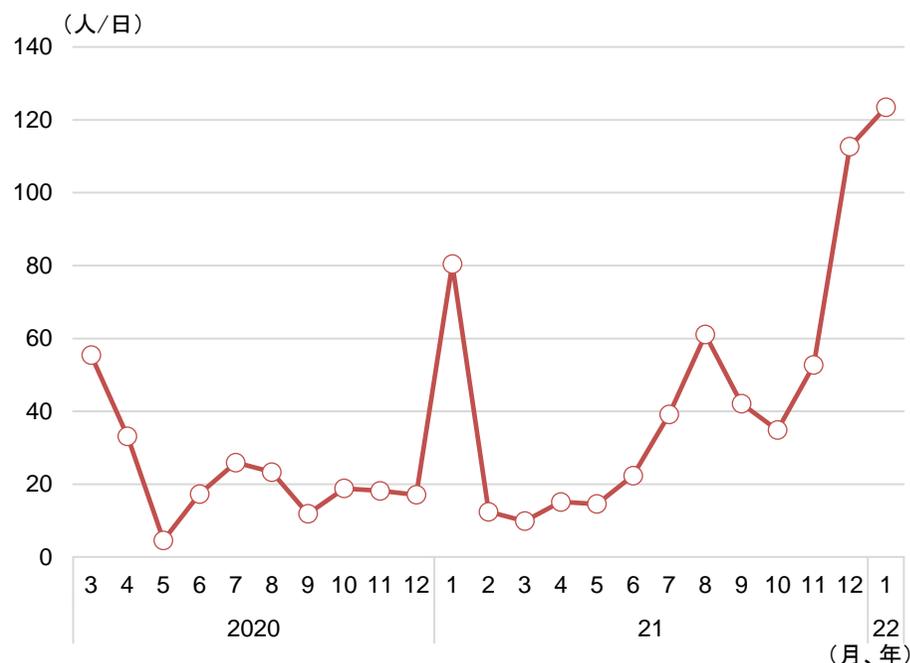
「直近の消費促進に向けた作業に関する通知」の方針

方針

1. 地域に応じて適切な措置を多く実施し、住民の祝日消費の需要を満たす
2. オンライン祝祭日消費のアップグレード版を打ち立てる
3. 地方・農村の消費を効率的に開拓する
4. 時流に乗り、住民の「冰雪」消費を拡大する
5. 文化・観光・レジャーサービスの供給を大いに促進する
6. 「スマート小売」の新たな活力をさらに刺激する
7. グリーン消費を積極的に発展させる
8. 住居消費の健康的な発展を促進する
9. 中小零細企業の救済政策を実行する
10. 生活困難世帯の基本的な生活消費を全力で保障する

(注) 網掛け部分は、春節に関連する方針
(出所) 国家発展改革委員会公表資料

月別1日当たり新型コロナ新規感染者数の推移



(注) 武漢で感染が拡大した2020年2月の一日あたり感染者数は2393人/日だった。
(出所) 国家衛生健康委員会

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 丸山 TEL:03-6733-1630 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒108-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください